

## ご挨拶（次期 代表取締役社長 林 新之助）

2023年4月10日

この度、次期社長に指名いただきましたことに対し、ご縁をいただいたことへの感謝と、その重責に身の引き締まる思いを持って受け止めております。

デンソーは、現在、社長の有馬が掲げてきた「環境と安心への取り組みを通じて、笑顔広がる未来を届ける」という目標を持って事業推進しております。この考えをしっかりと継承した上で、当社を「新たな価値を創造し続け、変化の時代を力強く生き抜いていく会社」へと進化させていくことが、私の使命だと考えております。

これからの社会は、クルマがさらに高度化し、クルマと人、クルマと社会が多様な形でつながっていくため、従来とは次元の違うレベルでさまざまな技術、人が広く深く関わり合いながら新たな製品やサービスを生み出す必要があります。そのためには、多様な価値観やスキルを持ったプロたちが、「個」の力を高めることはもちろんのこと、「一切妥協せず、互いの強みを活かし合い、一つの目標を完遂する力」、言い換えますと「調和する力」が不可欠だと私は考えています。

デンソーには、そうした「調和する力」を育んできた歴史があります。創業以来、自由闊達な風土の中で、メカ、エレクトロニクス、ソフトウェアなどさまざまな領域のエンジニアとモノづくりのプロたちが、時にぶつかり合いながらも技を磨き、お客様に喜んでいただける製品・システムをお届けしてまいりました。CASEの進展によりクルマにおけるソフトウェアの価値が相対的に高まる中、社内は元より、取引先様、車両メーカー様、さらには、さまざまな他業界の方々との関わりの中で、人、モノ、カルチャーなどをより高い次元で「調和」させながら、モビリティの価値向上に努めてまいります。また、モビリティ以外の領域での新たな事業開拓にも果敢に挑戦し、変化の時代を力強く生き抜いてまいりたいと存じます。

長年、エレクトロニクスとソフトウェアに携わってきた自分だからこそ、果たせることがあると感じており、しっかりとリードすると共に、さまざまな課題に真摯に向き合い、誠実に事を進めてまいりたいと存じます。今後とも、皆様からのご指導、ご支援を賜りたく、どうぞよろしくお願い申し上げます。

以上